

国 語

(時間 五十分)

【注意事項】

- 1、試験開始の合図があるまで中を開いて見えてはいけません。
- 2、受験番号を問題用紙・解答用紙の決められた欄に必ず記入しなさい。
- 3、問題は十一ページあります。問題が抜けている場合、印刷がはっきりしない場合は申し出なさい。
- 4、問題文には、原文(原作)の一部を省略したり、文字づかいや送りがなを改めたところがあります。
- 5、答えは解答用紙の決められた箇所かしょに記入しなさい。
- 6、何か用事ができた時は、だまって手をあげなさい。ただし問題の内容についての質問をしてはいけません。
- 7、試験終了のチャイムが鳴ったら答えを書き続けてはいけません。すぐに筆記用具を置いて答案回収を待ってください。
- 8、問題用紙は持ち帰ってかまいません。

受 験 番 号

--

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① そのワインはバルセロナ空港内のリカーショップで私が数分前に買おうとしていた、まさしくそれだった。

取っ手のついたギフトボックスに入った赤と白のコンビ。レジ横に設えられた特売コーナーにはスペシャルプライスの札を掲げたサンプルが飾られ、そのラベルを彩る風景画が会計を待つ人々の目を引いていた。白のラベルには海に躍る波と照りつける太陽が、赤のそれにはサグラダファミリアとその周辺の街並みが、ラウル・デュフィを思わせるのびやかなタッチで描かれている。

厚紙製のギフトボックスを華やけるイラストはまた別の画家の「ア」によるものらしい。赤紫の薔薇を唇にくわえた女の横顔と、牛。通常は相容れない両者がまるで恋人同士のように尤もらしく寄り添っている。ラテンの血を持てあますがごとく頬を上気させた女はいかにもフラメンコダンサーで、牛は言うまでもなく闘牛だ。観光客の求めるスペイン像に忠実でありながら、どこか挑発的な毒々しさも覗かせている。

値段は二本で三十五ユーロ。高いといえば高いし、安いといえば安い。味の保証はないけれど見栄えのするお土産ではある。が、重い。実際にボックスを手に取ると、二本のワインはいかにも二本分の重量をどうだとはかりに誇示している。その上、厚紙製の取っ手が指の関節に食いこんで痛い。この場合、憂慮すべきはこれを「スペインから日本へ持ち帰る」ことではなく、「成田から自宅まで持ち帰る」ことだ。もしも日本の国際空港があれば不親切な立地になかったら、世界各地の空港における日本人旅行者の散財率は今よりも伸びていたに違いない。

結局それは買い控え、代わりに二十八ユーロのカヴァアを手にしてレジへ向かった。ワイン選びで失敗することはあっても、「イ」に据えかねるほど不味いスパークリングには出くわしたことがない。会計を終えた私が店をあとにする直前、例のギフトボックスを手にした夫妻が店員を呼びとめるのが見えた。

「このボックス、強度に問題はありますか？」
「とんでもない。ウ」

帰国便の搭乗開始にはまだ時間があった。リカーショップをあとにした私は免税ショップで化粧品を価格をさらりとチェックしたのち、小さなチョコレートの専門店に入った。十歩もあれば一周できそうな店内には良質を謳うカカオの濃厚な芳香が立ちこめ、そこにいるだけでも相当分のポリフェノールを摂取した気分になる。

ショッピングエリアを歩き交う人々を透かしたガラスを背に、六ユーロの板チョコと十一ユーロの箱入りを手に取り、内容量を見比べた。明らかに板チョコのほうがお得だが、箱入りは中身が個別に包装

注1 リカーショップの酒屋。

注2 コンビを組み合わせ。

注3 サグラダファミリアのスペインの教会。

注4 ラウル・デュフィの画家の名。

注5 散財率はお金を使う割合。

注6 カヴァアスペインのカタルーニヤ地方で生産されるワインの一種。

注7 スパークリングに炭酸が入ったワイン。

されているメリットがある。迷いに迷い、終いにはどうでもよくなって、二つとも陳列棚へ戻した。背後から鋭い破裂音がしたのはそのときだった。

とつさに振りむくと、表を歩き交う人々の流れがある一点で滞っている。池に広がる波紋のようにそれはみるみる膨張し、やがては直径二、三メートルほどのブラックホールを形成した。人々が露骨に避けて通るその中心には一組のカップルが竹み、氷河のような破片を浮かべた葡萄酒の水たまりが彼の足下を濡らしている。

ついさつきリカーショップで見かけた夫妻だった。その証拠に、呆然と立ちつくす夫の手には例のギフトボックスが握られている。薔薇をくわえた女と闘牛の絵。「火星までも持っていけますよ」と店員が太鼓判を押していたそれは、しかし、火星どころか店から百歩としないこの時点で早くも底を失い、最悪の事態を招いていた。

ヒュウ。私の横でチョコバーに見入っていた米国人らしき少年が口笛を吹いて店外へ飛びだしていった。周囲のショップ店員や暇な客たちも集まり、白昼の悲劇を遠巻きにうかがう多国籍野次馬の垣ができる。

私もガラス越しに目を離せず、不運な夫妻が動き出すのを息をひそめて待った。彼らが粗悪な箱の製造主やお調子者の店員、ひいてはスペインという国家全体のゆるさに対する腹立ちを表明するのを期待して。なぜならそれは私の上に振りかかっていた災難であったかもしれないのだから。

けれども夫妻は当惑顔で黙したきり動こうとしない。夫がかちりと着こなしているアイビー風のシャツとブレザー、それに妻のふくよかな体を強調するローラ・アシュレイ風花柄のフレアスカートから推測するに、どうやら英国人夫妻のようだ。多くの英国人がそうであるように、ラテン系民族の中で彼らは少々野暮ったく見える。大きくはだけたシャツの胸元から黄金の胸毛をのぞかせたスペイン人男性が「どんくせえな」という目で彼らを睨み、床を汚す液体をまたいでいく。

最初に膝を折ったのは夫のほうだった。一八〇センチはあろう長身がふいに沈んで、その頭髪の薄さが露わになり、より一層の悲哀を帯びた彼は無言で足下の破片を拾いはじめた。無惨に抜けたギフトボックスの底を元通りに組みなおして片手で押さえ、大小の破片を一つずつその中に回収していく。それに倣って腰を下ろした妻は、しかし最初の一片に手を伸ばすよりも早く何やら思いついたように立ち上がり、ふらりとどこかへ立ち去った。

空港の係員を呼びにいったのだろうか。それともリカーショップの店員を呼びつけてくるのか。徐々に野次馬がばらけていく中、俺ならダッシュでバックレるぜ、と誰かががなり声を響かせて失笑を誘った。英国人の夫は表情を変えずに黙々と破片を拾いつづける。時折、その脇をすりぬけていく空港関係者からも肩をすくめる以上のアクションが差し込まれることはない。

やがて姿を消していた妻が再び夫に寄り添った。③ 単身で戻ってきたその両手にはトイレットペーパーのロールが一巻きずつ握られている。ペーパーを解いては床のワインを拭い、また解いては拭い――周囲に散った細かなガラスに目を凝らす夫の横で、妻はひたむきにその単純作業をこなしていく。はら

注8 アイビー風のシャツとブレザーは一九六五年ころ流行した服装。

注9 ローラ・アシュレイ風花柄のフレアスカートは上品なかわいらしい花柄もよう、すその広がったスカート。

注10 野暮ったくあまり洗練されていないようなさま。

注11 バックレるは知らん顔をして逃げ出す。

りと床に沈むなり瞬時にして色を変えるトイレットペーパーは、ちやちなギフトボックスに描かれた薔薇の色とよく似ている。いつか何かの記念日に開けるつもりで買ったワインかも知れない。あるいは、彼らの帰りを待つ家族へのお土産か。ロンドン空港もさほど立地が良いわけじゃない。遠くても、重くても家まで持ち帰ろうとしたのだ。そこには私の持ち得なかつた小さな決意があつた。ワインもろとも砕けたそれを彼らは肅々と拾い集めていく。

ワインを含んだトイレットペーパーは几帳面にまるめられ、ボトルの破片と同様、屑入れと化したギフトボックスに回収された。もはや水滴一つ見えない床を、それでも夫妻は入念に眺めまわし、まだどこかに破片が飛んでいないかと最後の確認に余念がない。よし、とようやくうなずいた夫が長く畳んでいた足を伸ばすと、その横顔を見上げる妻の頬に初めて笑みが広がった。④ 一張羅かもしれないフレアスカートの裾はワインに汚されても、夫と見つめあうその瞳には曇りがなかつた。

⑤ どうとう最後まで一言も発することなく二人はそれを全うし、静かにその場を立ち去つた。わずか十分間の出来事。滞っていた人の流れが正常に戻ると、私と同様、最後まで二人を眺めていた米国人らしき少年がその流れにはじきだされるようにチヨコレートショップの店内へ戻つてきた。少年はもはや口笛を吹いていなかった。私と目が合うと、⑥ はにかんだように顔をうつむけた。生まれて初めて紳士を見たような目をしていった。

(森 絵都「架空の球を追う」「彼らが失つたものと失わなかつたもの」による)

問一 線部①「そのワイン」について説明したものとしてみつとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 ギフトボックスに入った赤と白のワイン
- 2 英国人らしい夫婦の割れてしまつたワイン
- 3 ボトル二本で値段が三十五ユーロのワイン
- 4 スペイン土産として見栄えのするワイン

問二 ア イ には体の一部分を表す漢字が一字ずつ入ります。その漢字と同じ漢字が に入る慣用句を次の1〜5の中からそれぞれ選び、その番号で答えなさい。

- 1 に付く。
- 2 を割る。
- 3 を焼く。
- 4 が広い。
- 5 が重い。

注12 肅々と静かでおごそかなさま。

注13 一張羅 持っている服の中でいちばん上等なもの。

問三 ウ に入れるのに適切な漢字二字の言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問四 線部②「太鼓判を押していた」とありますが、「太鼓判を押す」の意味としてもつとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 口先だけの言葉でだますこと。
- 2 威張って大きなことを言うこと。
- 3 絶対まちがいないと保証すること。
- 4 物事のすじみちをきちんと通すこと。

問五 線部③「単身で戻ってきたその両手にはトイレットペーパーのロールが一巻きずつ握られている。ペーパーを解いては床のワインを拭い、また解いては拭い——周囲に散つた細かなガラスの目を凝らす夫の横で、妻はひたむきにその単純作業をこなしていく」とありますが、主人公である「私」はこの二人の姿をどのようにとらえていますか。その説明としてもつとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 無責任な野次馬にどんなに批判されようとも、空港という公的な場所を美しく保とうとする夫婦二人の高潔な精神に深い感銘を受けている。
- 2 長年連れそつた夫婦だけが持つことができる強い信頼感に裏打ちされた無言の行動の前に、何もなかつた自分の無力さとおろかさを感じている。
- 3 自分が持てなかつた決意を自然に持っている上に、空港関係者でさえ肩をすくめるしかない誰もが嫌がる行為を肅々と進める姿に憧れを抱いている。
- 4 お土産を持ち帰れなかつた無念さや怒りを抑え、不平一つ言わずに自分たちのことに責任を持つて対処しようとする態度に胸を打たれている。

問六 線部④「一張羅かもしれないフレアスカートの裾はワインに汚されても、夫と見つめあうその瞳には曇りがなかつた」とありますが、「曇りが無い」とはどのような気持ちのことですか。その説明としてもつとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 夫の失敗に対して無言の抗議はしているが、それ以上に、大切なフレアスカートを台無しにしてまで不幸に打ち勝つた自分をほめたい気持ち。
- 2 軽率な行いをした夫であるが、一人の後片付けをする姿を見てわだかまりも解け、しだいにわき上がった晴れ晴れとした気持ち。
- 3 不運なできごとで不平をもらすでもなく、周囲の好奇の視線にもたえて、夫と二人して片付けをきちんと終えたことを、ともに喜ぶ気持ち。
- 4 ワインで服が汚されてもまったく問題にすることもなく、周囲の人々に模範的な行動を見せることができ、夫と二人して満足している気持ち。

問七 — 線部⑤「とうとう最後まで一言も発することなく二人はそれを全うし、静かにその場を立ち去った」とありますが、ここから読み取れることとして、もともとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 英国人夫婦の、恥をたえ忍ぶ様子
- 2 英国人夫婦の、互いを信じ合う絆
- 3 英国人夫婦の、自己犠牲に酔う心
- 4 英国人夫婦の、絶対的な上下関係

問八 — 線部⑥「はにかんだように」とありますが、「私」が少年の様子をそのように感じたのはなぜですか。その理由としてもとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 今まで知らなかった、きちんと物事の責任を取る生き方を知って、野次馬根性丸出しで飛び出した自分の軽薄な生き方を恥じているように見えたから。
- 2 責任を押し付けることも、逃げ出すこともしなかった紳士を、初めのうち野暮つたい田舎者と見下していたことを後悔しているように見えたから。
- 3 自分と同じくこのかわいそうな事件の傍観者であったはずの「私」の、責めるような視線に気がついて、やり切れなくなってしまうように見えたから。
- 4 床を汚したにもかかわらず、最初は困った顔をして動こうとしなかった英国紳士が奥さんの協力で無事片付けを終えたことを確認して、安心したように見えたから。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

NHKが放送した「アジア古都物語」というルポで、イランのイスファハンを取りあげた回があった。イスファハンはイスラム朝時代の都で、イマーム広場という広大な広場と、それを囲むようにあるイマーム・モスクや、別のモスクや、バザールなどが活気にあふれる超有名観光地だ。イマーム・モスクの大きさと、タイル装飾の見事さは、見て思わず息をのむぐらいのものである。

そのイマーム・モスクのタイル装飾を、六十年ぶりに修理しているタイル職人、ホセインさんの仕事ぶりが紹介されていた。ホセインさんは六十歳ぐらいの老人だ。

それから、イマーム広場で観光客などを相手に靴みがきをしている十歳の少年が映し出される。ややこしい名前だったのでここでは仮名にするが、アフガン難民の二世のモハンマドくんだ。午前中は学校へ行き、午後はここで靴みがきをしているのだが、一日に十人みがあればいいほうで、それだけみがない日本円で百六十円にしかないのだそう。

ほんの少し目に翳りがあって、けなげでいい顔をした少年である。こういう顔の子供がここにはまだいたんだ、と思うような。

それで、モハンマドくんは、ホセインさんとその部下の職人たちの仕事に気になる。タイル装飾という美しいものを造りだす仕事に憧れるのだ。そういうわけで、その老人と少年は互いを見知った仲だ。

② 私がその放送を見ていて、いい感じだなあ、と思ったのはこういうシーンだった。ホセインさんたちがモスクの前にシートを敷いて、車座にすわって昼食をとっている。カレーとナン（竈焼きパン）だった。そこへ、肩から靴みがき道具をさげたモハンマドくんが通りかかる。するとホセインさんは、食事に誘ってくれるのだが、こう声をかけるのだ。

「モハンマドくん、すわりなさい」

ここで、ちゃんと少年の名をくん付けで呼ぶところに、イランの文化があると思う。

それは字幕スローパーであり、つまり翻訳なんだから、本当はどう言ってるのかわからないのでは、と言う人がいるかもしれない。

それは確かにそうだが、画像によって、どういう顔で、どういう声で、どういう態度でしゃべっているのかを見ることができるとだ。それを見れば、モハンマドくん、と、くん付けで呼んでいるように訳すしかない、気配りと敬意のある誘い方だというのがわかるのである（ペルシア語には、さん、や、ちゃんにあたる敬称の言葉があるそうだ）。

モハンマドくんは静かにすわり、恐縮した表情で行儀よく食べる。職人たちに話しかけられると、ポツリポツリ答える。

「カレーのおかわりは」

とホセインさんが言い、少年は、

注1 ルポルポルタージュの略。取材記者、ジャーナリスト等が、自ら現地に赴いて取材した内容を放送・新聞・雑誌などの各種メディアでニュースとして報告したもの。

注2 モスク・イスラム教の礼拝堂。

注3 バザール市場。

注4 アフガン難民紛争により、アフガニスタン国内から国外に出た人々のこと。

「もうおなかいっぱいです」と答える。

本当はモハンマドくんは、タイル職人として弟子入りしたいのだが、日銭の入る靴みがきをやめるわけにいかないのだ、という事情がやがて語られていくのだが、私はその、少年を食事に誘うシーンだけで、強く感じるものがあつた。この国には、古くから守られてきている文化がある、ということだ。だから、人間が美しいのである。

この章では、主に韓国とイランを例に出して、国や民族には文化があるんだ、ということ語った。その二国が特別だと言いたいのではなく、たまたま少し知っていたので取りあげただけである。

私が言いたいののは、こういう文化を持ってこそ、人々が美しく見えるんだというのを思い出してほしい、ということだ。

文化の話などを始めてしまったので、とまどっている読者がいるかもしれない。教育と文化とは、少し話の方向が違っているような気がするかも。

縄文時代や弥生時代にはそれぞれの文化があり、室町時代には今につながる食事や芸能の文化が始まり、江戸時代には庶民の文化が生まれた。そういう文化の話と、教育との間にどういふ関連があるのか。

③ そう思うかもしれないが、文化という言葉、そんなにこむずかしく考えることはないのだ。私ここで言っている文化は、それぞれの国や民族にとつての、生活習慣の規範というほどの意味である。そういう生活習慣の規範が民族ごとに守られているというのは、美しいことだ、と言っているのだ。文化を、生活習慣の美と言いかえてもいい。

日本では、正式な場では正座するというのが生活習慣上の美である。私などは足が軟弱で、お葬式のお経の時ですら、一分もするともう限界です、ごめんなさい、とばかりに足をくずしてしまうのだが、文化が守れていないのであり、恥ずかしく思う。

⑤ そういう時に、喪服を着たお婆さんなどが、腰高にならないでこぢんまりと正座し、背筋がすつとのびている姿を見ると、ああ、美しいな、と思う。その姿は日本の文化の中にあるものだからだ。

もちろん、日本文化だけが美なのではない。韓国のお婆さんは、片膝を立ててあぐらをかいてすわってこそ美しいのだ。その地の人はその地の文化の中にいなくちゃいけない。

我々は、自分でも気がついていないようなところで、文化のくくりの中に生きている。日本人として知らず知らず守ってしまったことが、ちゃんとあるのだ。そういうことがだんだんなくなっていくのは、文化の崩れである。

二十年ぐらい前に、テレビの中である評論家の言ったことをきいて、ああそうか、と納得したことがある。私たちは半ば無意識のうちに私たちの文化の中に生きている、ということの一例を、その人がズバリと指摘したのだ。

女子の長距離走(マラソンか、一万メートル走かだった)のゴールのシーンをカメラが映し出して

注5 日銭(収入として毎日入ってくるお金)
注6 規範(手本。模範)

た。そして、ありつたけの力をふりしほってゴールした日本人選手は、ゴールしたとたんに、ヨレヨレになって崩れ落ちるか、誰かに肩を支えられてようやく歩くというふうだった。肩を支えられて歩いていても、今にもぶつ倒れそうである。

ところが、外国人選手はそういう様子ではないのだ。その人も全力を出しきって走ったのだから、軽く筋肉をほぐすための走りをしたり、屈伸運動をしたりしている。いい走りだったと祝福されれば笑顔で応じたりしている。

なのに日本人選手は、表情を作る余力もなく、失神寸前という様子なのである。それは成績には関係ない。一着だったとしても、残念なことにビリだったとしても、同様に、ぶつ倒れそうなのである。

それを見て、その評論家(スポーツ評論家ではなく、社会評論家)はこう言った。

⑥ 「あんなふうには、日本人選手がフラフラの様子を見せるのは、それが日本の文化だからなんです」そう言われてすぐには納得できなかった。あれは別に演技でやつてることじゃないだろう、と思ったのだ。そんな計算ずくのものではなくて、本当に、疲れてぶつ倒れる寸前まで頑張ったので、ゴールしたらもうヨレヨレなんだろうと。でも、同様の事例を何回も見ているうちに、私にもだんだんその人の言ったことが当たっているように思えてきた。

欧米人は体が大きくて基礎身体能力が高いのに対して、小柄な日本人はありつたけの体力を使いきるからあなる、と考えたこともあるのだが、体格が日本人とそう変らないアジアの国々の選手も、日本人のように倒れ込まないのである。

日本人だけが、医者と呼ばべ、と言いたくなるほどにヨレヨレになる。日本人の運動能力がよほど低いのかと考へたところだが、それにしては成績はそう悪くないのである。決してビリではなく、一着とか二着だったとしても、立っていられないくらいにグロッキー状態なのだ。

つまり、日本人がスポーツマンに何を求めるか、という文化の中から、あのフラフラ状態というのは出てくるのだろう。日本人はスポーツに、死ぬほど頑張つて、その精神力のおかげでいい成績をあげる、という物語を求めるとだ。選手たちももちろん、そういう精神力神話の信奉者である。彼らは心から、気力で闘い抜きます、と思っているのだ。

そうすると走り終えた時、作爲でも演技でもなく、気力を出しきった姿になってしまふのだ。だからゴールするともう、立っていることもできないのである。

⑦ そういうことに、無意識のうちに文化の美が原因しているのだ。だからあれは、韓国の人が身内の人の死に号泣するのと同様のものなのである。韓国人は決して、うそ泣きをしているのではない。悲しみが大きければ大きいほど、大きな声で泣くはずだ、という文化の中にいるから自然にあなるのだ。

そして日本人は、気力で頑張り抜いて勝つ、ということを尊ぶ文化の中にいるから、決して計算してそうするのではないが、ヨレヨレになるのだ。

我々はそんなふうには、文化の美に左右されて生活している。野球で、バッターがピッチャーを投げられて、どう怒るか、というのだから、日本人選手と外国人選手とは大きく違っているではないか。新人タレント・オーディション最終審査で、グランプリに選ばれた娘は、日本人である限り、絶対にガッツ・ポーズをとったりはしない。手を口の前にあて

注7 グロッキー(へとへとに疲れて弱った)
注8 信奉者(信じて尊ぶ者)
注9 作爲(つくりごと)

注10 ビーンボール(投手が故意に打者の頭をねらって投げた球。規則で禁じられている)

て信じられないような顔をし、目からポロポロと涙をこぼすのである。
人間の行動は、その民族の文化の美の中にあるのだ。

(清水 義範『行儀よくしろ』による)

問一 —— 線部①「息をのむ」とありますが、これと意味の上で似通ったところのまったくないものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 腰を抜かす
- 2 目を疑う
- 3 肝を冷やす
- 4 舌を巻く

問二 —— 線部②「私とその放送を見ていて、いい感じだなあ、と思ったのはこういうシーンだった」とありますが、

(1) どういう「シーン」のことですか。その説明としてもっとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 ホセインさんが敬称を付けてモハンマドくんの名を呼び、彼を食事に誘ったシーン
- 2 けなげでいい顔をしたモハンマドくんが、ホセインさんといっしょに映ったシーン
- 3 モスクの前にシートを敷き、ホセインさんたちが仲良く昼食をとっているシーン
- 4 モハンマドくんがホセインさんが、カレーをお腹いっぱい食べさせているシーン

(2) 筆者は「こういうシーン」からどういうことを読み取ったと述べていますか。それに当たる部分本文から二十五字以上三十字以内で抜き出して答えなさい(句読点は一字に数えます)。

問三 —— 線部③「文化という言葉、そんなにこむずかしく考えることはないのだ」とありますが、筆者はここで「文化」をどのようなものと考えていますか。その説明としてもっとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 民族がそれぞれ人間を美しく見せるために考え出した、日常的な言動の手本となるもの
- 2 民族がそれぞれ古い時代に生み出した、日常生活の表側を飾る言動の手本となるもの
- 3 民族がそれぞれ長い年月をかけて作り出した、日常生活における言動の手本となるもの
- 4 民族がそれぞれ自国の道徳意識向上のために定めた、日常的な言動の手本となるもの

問四 —— 線部④「守れて」とありますが、これと同様の言い方で正しく使われているものを次の1〜4の中からすべて選び、その番号で答えなさい。

- 1 見れて
- 2 話せて
- 3 着れて
- 4 開けて

問五 —— 線部⑤「そういう時に」は、あとに続く線部1〜4の中のどこにつながっていますか。もっとも適切なものを一つ選び、その番号で答えなさい。

問六 —— 線部⑥「あんなふうに、日本人選手がフラフラの様子を見せるのは、それが日本の文化だからなんです」とありますが、この場合の「日本の文化」を筆者はどのようなものだと述べていますか。「文化」につながるように、本文中から四十字以上四十五字以内で抜き出して答えなさい(句読点は一字に数えます)。

問七 —— 線部⑦「私にもだんだんその人の言ったことが当たっているように思えてきた」とありますが、筆者はどのように考えたのですか。その説明としてもっとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 疲れたときには疲れた様子をはっきり見せるといのが、日本の伝統なのである。
- 2 我々は、自分でも気がついていないようなところで文化の影響の中に生きている。
- 3 かつてあった素晴らしい文化が崩れていくのをくい止めることは、不可能に近い。
- 4 私たちは、どんなにやめたいと思っても身についた習慣を改めることはできない。

問八 —— 線部「そういう文化の話と、教育との間にどういった関連があるのか」とありますが、筆者はどのように言いたいのですか。その説明としてもっとも適切なものを次の1〜4の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 どの国にも古くから伝わっている文化というものが存在し、それが芸術として高い価値を持つこともあるが、多くの場合は生活習慣という日常のささいなことであり、教育とはほとんど関係がない。
- 2 古い時代から今まで、その時代にふさわしい文化が創り出されてきたが、その中には現代にそのまま残っているすぐれたものもあるので、良い文化かどうかを見分ける力を養うのが教育の役割だと言える。
- 3 あらゆる地域で人々はその土地にふさわしい文化を創ってきたのだが、それを次の世代に受け継がせるための教育の機会は全員に等しく与えられるわけではなく、ここに現代社会の深い問題がある。
- 4 それぞれの民族や土地には古くからの文化があり、これを守ることが人間の生きる姿を美しくしているのだが、人々がそれらを受け継いでいけるよう各人にしっかり植え付けるのが教育の役割である。

問九 問題文を参考にしながら、あなたが日常生活の中で見たたり聞いたたりした、また本などで読んだ、「文化」から生まれた「美」について八十五字以上百字以内で具体的に書きなさい(句読点は一字に数えます)。

次の——線部①から⑩のカタカナの部分漢字で書きなさい。いずれも一画一画をていねいに書くこと。

彼はヨウコウ^①帰りであることを、やたらに自慢^②している。

明治の実業家は私利^③シヨク^④を捨てた人たちばかりであった。

ふと^⑤ノウリ^⑥をかすめたのは、なつかしいふるさとの景色だった。

応急処置^⑦が功^⑧をソウ^⑨し、ポチの命は無事に救われた。

みんなでこれまで取り組んできた成果を小さなサツシ^⑩にまとめた。

友人の横にいる人は、顔からルイスイ^⑪すると彼のお兄さんだろう。

長らく議論^⑫していた計画がチュウ^⑬に浮いてしまった。

宿題は後回しにせず、早め早めにスませ^⑭ておくものだ。

先週の日曜日、秋晴れの空の下、姉が結婚式^⑮をあげた。

今年度の国家予算は、物価上昇をすでにオ^⑯り込み^⑰みだ。

(以下余白)

国語解答用紙

受験番号

氏名

得点

※注意 Ⅱ Ⅲ の解答欄は設問の順序通りにはなっていません。
答えの形によって順序を変えてありますので、まちがえないこと。

一

問一

問二ア

イ

問三

問四

問五

問六

問七

問八

二

問一

問二(1)

問三

問四

問五

問七

問八

(2) 問二

問二(2)

問六

問六
文化

問九

問九
85
100

三

問三
⑨ ⑤ ①
けた
⑩ ⑥ ②
り
⑦ ③
⑧ ④
世 し

得点

得点

得点

得点

得点

得点